

■第1回 第二次新潟市下水道中期ビジョン検討委員会 意見概要(1/2)

施策	番号	種別	項目	意見概要
施策 1 雨に強い都市づくり	1	今後の方向性	浸水対策 全般	浸水対策の考え方について、下水道施設だけでは大雨に対応しきれない部分があるので、農業水利施設の活用を検討するなど、関係機関と連携を深め、一体的な浸水対策の計画を立てていただきたい。
	2			国費の影響を受けやすい浸水対策事業については、国の厳しい財政状況を踏まえ、新ビジョンを策定する中で実施内容を検討しなければならない。
	3		田んぼダムの整備	田んぼダムの整備による効果をより大きくするため、下水道部だけではなく、農林水産部や土地改良区と連携を図り、具体的な計画を立てていくことが必要。また、その際には、他市の成功事例を参考にすること。
	4			田んぼダムの整備を継続的に実施するため、財源の確保として、国に説明するなど、交付金の活用にチャレンジしたらどうか。
	5		汚水管への雨天時侵入水	汚水管への雨天時侵入水の問題が顕在化しているようであれば、現在、国が雨天時侵入水に対して検討をしているので、国の動向に注視し、実施について検討していくこと。
施策 3 地震・津波対策の推進	1	今後の方向性	地震対策 全般	耐震化の整備について、耐震化が必要な管渠が数多く残っているため、優先度順位を考え、効果的・効率的に実施していただきたい。
	2		津波対策	津波対策について、新潟市の場合は、海拔ゼロメートル以下に住宅地が広がっているため、非常に問題である。
	3			津波対策を検討する際には、下水道部だけでなく、関係機関などと連携しながら、最も効果的・効率的な対策をしていただきたい。
	4			津波対策を検討する際には、現在、下水道協会が津波の深さによる対策内容について指針の改定を行っているため、下水道協会の動向を注視し、その内容を参考にすること。
	5		マンホールトイレの整備	マンホールトイレについて、「住民にできることは住民にやらせよう」との考えを含め、実施内容を検討するといいいのではないかと。
	6			マンホールトイレを整備する避難所には、それぞれ高齢者が多い少ないなどの条件が異なるため、それらの条件をしっかりと踏まえた優先順位の中で実施していくことが重要。
	7			マンホールトイレの説明会については、マンホールトイレの使い方などの一方的な説明だけでなく、地域住民の意見を聞き、本当に求めているものが何かということまで含めたものにする必要がある。
	8			マンホールトイレについては、水で流せる構造であることから、仮設トイレよりも臭いもなく、快適性、衛生面でも効果があることが分かる。
	9		内部評価書の修正	②主な取組みの表記

■第1回 第二次新潟市下水道中期ビジョン検討委員会 意見概要(2/2)

施策	番号	種別	項目	意見概要
施策 6 合流式下水道の改善	1	今後の方向性	合流式下水道の改善 全般	合流式下水道の改善の内容については、複雑なので、市民の方に分かりやすく伝えることは、これまで同様に課題である。
	2	内部評価書の修正	③成果と課題の表記	市民に公表する上で、「目標に届かなかった」ではなく、「計画の見直しにより改善策を打てなかった」などの記載に修正した方が、現状の課題をしっかりと捉えていることが伝わるのではないかと。
	3		合流式下水道の改善率の指標	内部評価書の合流式下水道改善率の指標について、平成29年度の計画の見直しの内容から、人口減少などによりできた余裕分を見込むことにより、対策施設を整備しなくても負荷が削減できる。すなわち、改善率が上がると思われるので、計画の見直しも成果として捉え、見せ方について工夫した方がいいのではないかと。
施策 9 下水道の「見える化」の推進	1	今後の方向性	「見える化」全般	市民の意見を十分に聞いて策定したビジョンであることが重要になると思うので、これからでも市民意識調査を実施し、次期ビジョンの施策に反映させることが必要ではないかと。
	2			何を見せていきたいのかななどを整理したうえで今後の方向性が「市民ニーズを捉えた広報活動」というタイトルで良いか検討が必要ではないかと。
	3		効果的な広報	コンテンツを作るだけでなく、情報が自然と流れてくるように、SNS広告などを活用し、より下水道の情報を発信する手法の検討をしていただきたい。
	4			縦割りの発想ではなく、柔軟な発想で情報を発信していく方策を考えてはどうか。 例えば、下水道のことだけでなく、防災という観点を組み込み防災部局と一緒に情報発信していくなど、これまでと違う切り口で市民に理解してもらうことが必要。
	5			下水管の見学などの参加型のイベントを実施するなどすれば、参加者が情報を発信してくれることも考えられるので、検討してはどうか。
	6		市民との協働	市民との協働について、どの程度の協働を求めていくのかなど更に詳細に記載し発信していただければ、もっと下水道を身近に感じられるのではないかと。
	7	内部評価書の修正	記載内容全般	施策の目的と取り組み、成果と課題の対応関係が分かりにくいので、それぞれつながるような整理が必要ではないかと。
	8		③成果と課題の表記	「市民意識調査」項目の29年度記載について、「実施・検証」とあるが、説明では実施していないということなので、実績としては削除していただきたい。 (26年度のアンケートについて、項目・結果について開示していただきたい)